

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)

【公開番号】特開 2009-225061 (P2009-225061A)

【公開日】平成 21 年 10 月 1 日 (2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報 2009-039

【出願番号】特願 2008-66735 (P2008-66735)

【国際特許分類】

H 0 4 W 48/18 (2009.01)

H 0 4 W 88/06 (2009.01)

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

H 0 4 W 8/26 (2009.01)

H 0 4 W 84/18 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 4 1 0

H 0 4 Q 7/00 6 5 3

H 0 4 Q 7/00 6 3 0

H 0 4 Q 7/00 1 6 1

H 0 4 Q 7/00 6 3 3

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 4 月 28 日 (2011.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通信装置であって、

第 1 のネットワークから一時的に分離して構成された一時ネットワークに接続する特定の通信装置が前記一時ネットワークから離脱したことを検出する検出手段と、

前記特定の通信装置の離脱に応じて、前記一時ネットワークに接続する他の通信装置が前記第 1 のネットワークの基地局に無線接続するように制御する復帰手段と、

を有することを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

前記特定の通信装置は、前記一時ネットワークの構築を要求した通信装置であることを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記特定の通信装置は、前記一時ネットワークにおいて実行されるアプリケーションを指示する指示機能を有する通信装置であることを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 4】

前記離脱は、論理的な離脱であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 5】

前記復帰手段は、前記特定の通信装置が離脱した場合、前記他の通信装置に対して前記特定の通信装置の離脱を通知することを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 6】

前記通信装置は、前記特定の通信装置が離脱した場合、前記一時ネットワークの基地局としての機能を停止することを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の通信装置

。

【請求項 7】

通信装置の通信制御方法であって、

検出手段が、第 1 のネットワークから一時的に分離して構成された一時ネットワークに接続する特定の通信装置が前記一時ネットワークから離脱したことを検出する検出工程と

、

復帰手段が、前記特定の通信装置の離脱に応じて、前記一時ネットワークに接続する他の通信装置が前記第 1 のネットワークの基地局に無線接続するように制御する復帰工程と

、

を有することを特徴とする通信装置の通信制御方法。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の通信装置としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

【請求項 9】

通信装置であって、

第 1 のネットワークから一時的に分離して構成された一時ネットワークに接続しながら、前記一時ネットワークに接続する特定の通信装置が前記一時ネットワークから離脱したことを認識する認識手段と、

前記一時ネットワークから前記特定の通信装置の離脱に応じて、前記通信装置を前記第 1 のネットワークの基地局に再接続する再接続手段と、

を有することを特徴とする通信装置。

【請求項 10】

前記認識手段は、前記一時ネットワークの基地局として機能する他の通信装置から離脱又は切断の通知により、或いは前記他の通信装置が基地局としての機能を停止したことにより、前記特定の通信装置が前記一時ネットワークから離脱したことを認識することを特徴とする請求項 9 に記載の通信装置。

【請求項 11】

前記特定の通信装置が前記一時ネットワークから離脱した場合に、前記再接続手段は前記一時ネットワークの基地局としての機能を停止し、前記第 1 のネットワークの基地局に前記通信装置を再接続することを特徴とする請求項 9 に記載の通信装置。

【請求項 12】

通信装置の通信制御方法であって、

検出手段が、第 1 のネットワークから一時的に分離して構成された一時ネットワークに接続しながら、前記一時ネットワークに接続する特定の通信装置が前記一時ネットワークから離脱したことを検出する検出工程と、

再接続手段が、前記一時ネットワークから前記特定の通信装置の離脱に応じて、前記通信装置を前記第 1 のネットワークの基地局に再接続する再接続工程と、

を有することを特徴とする通信装置の通信制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明は、通信装置であって、第 1 のネットワークから一時的に分離して構成された一時ネットワークに接続する特定の通信装置が前記一時ネットワークから離脱したことを検出する検出手段と、前記特定の通信装置の離脱に応じて、前記一時ネットワークに接続する他の通信装置が前記第 1 のネットワークの基地局に無線接続するように制御する復帰手

段と、を有することを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

また、本発明は、通信装置の通信制御方法であって、検出手段が、第１のネットワークから一時的に分離して構成された一時ネットワークに接続する特定の通信装置が前記一時ネットワークから離脱したことを検出する検出工程と、復帰手段が、前記特定の通信装置の離脱に応じて、前記一時ネットワークに接続する他の通信装置が前記第１のネットワークの基地局に無線接続するように制御する復帰工程と、を有することを特徴とする。